地図と印刷

MAP and PRINTING

2020.9.17（土）→ 12.11（日）

印刷博物館
Printing Museum, Tokyo

印刷文化學
Printing Culture Studies

開館時間　10時～18時（入場は17時30分まで）

休館日　毎週月曜日（ただし9月19日、10月10日は開館）、9月20日（火）、10月11日（火）

入場料　一般500円、学生300円、高校生200円
※20名以上の団体は各50円引き
※中学生以下および70歳以上の方は無料
※障がい者手帳等お持ちの方、および付き添いの方は無料
※11月3日（木・祝）文化の日は入場無料

会場　印刷博物館

※本展および関連イベントにつきましては、新型コロナウイルス感染症の感染予防、拡散防止のために中止もしくは延期など変更になる可能性があります。なお、開館する場合でも入場制限の措置を講じさせていただきます。詳細は当館のWebサイトでお知らせします。

主催：凸版印刷株式会社 印刷博物館
お問い合わせ先：印刷博物館
URL https://www.printing-museum.org/
TEL 03-5840-2300㈹ FAX 03-5840-1567
〒112-8531 東京都文京区水道1丁目3番3号
トッパン小石川本社ビル

地図と印刷
印刷博物館
Printing Museum, Tokyo
印刷文化學
Printing Culture Studies
MAP and PRINTING
2020.9.17（土）→ 12.11（日）

開館時間　10時～18時（入場は17時30分まで）

休館日　毎週月曜日（ただし9月19日、10月10日は開館）、9月20日（火）、10月11日（火）

入場料　一般500円、学生300円、高校生200円
※20名以上の団体は各50円引き
※中学生以下および70歳以上の方は無料
※障がい者手帳等お持ちの方、および付き添いの方は無料
※11月3日（木・祝）文化の日は入場無料

会場　印刷博物館

※本展および関連イベントにつきましては、新型コロナウイルス感染症の感染予防、拡散防止のために中止もしくは延期など変更になる可能性があります。なお、開館する場合でも入場制限の措置を講じさせていただきます。詳細は当館のWebサイトでお知らせします。

主催：凸版印刷株式会社 印刷博物館
お問い合わせ先：印刷博物館
URL https://www.printing-museum.org/
TEL 03-5840-2300㈹ FAX 03-5840-1567
〒112-8531 東京都文京区水道1丁目3番3号
トッパン小石川本社ビル

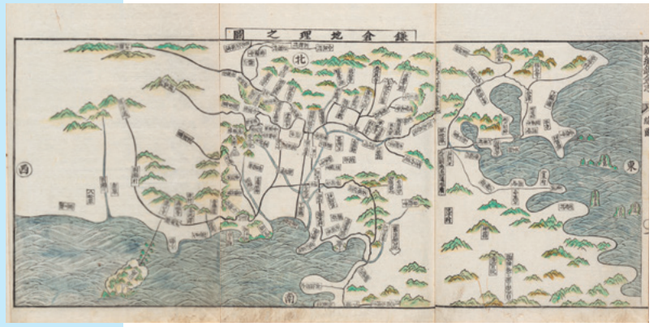
地図と印刷

私たちが暮らしていくうえで無くてはならない地図。古来より地理情報を伝える表現技法のひとつとしてつくられてきました。またより多くの人に伝えるため、印刷物となりました。日本において印刷された地図が登場するのは近世です。民間での印刷・出版の拡大によりさまざまな地図や地誌がつくられました。やがて蘭学が発展すると、西洋の地図知識を吸収し、世界が広がります。近世後期には伊能忠敬により近代的な地図づくりが幕を開け、大きな影響を与えました。本展は日本の近世を中心にスポットをあて、地図や地誌づくりにおける印刷と人々とのかかわりを探ります。

第1部 日本の印刷地図のはじまりと文治の展開

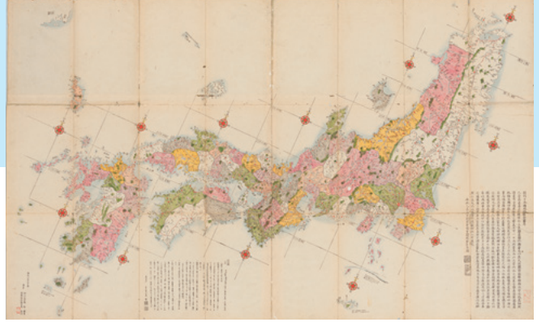
日本で印刷された地図のはじまりは、古活字版『拾芥抄』所収の図でした。日本では京都で木版印刷による民間での印刷・出版がはじまりますが、地図の印刷も同様にスタートします。平和な時代が到来し、文化の受け手が拡大すると、元禄期には江戸で石川流宣が『日本海山潮陸図』を刊行。流宣が手がけた日本図（流宣図）がスタンダードとなるなど、地図（絵図）が大衆化していきました。

△「**江戸図**」／石川流宣　江戸中期刊

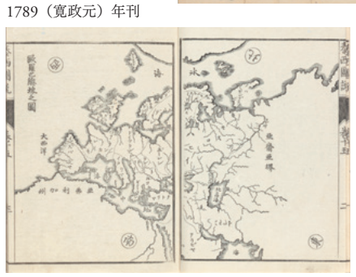


△『**新編鎌倉志**』／河井恒久他編　1685（貞享2）年刊

△『**拾芥抄**』／洞院公賢編　1642（寛永19）年刊



▷「**改正日本輿地路程全図**」
長久保赤水
1779（安永8）年刊



▽『**泰西輿地図説**』
朽木昌綱
1789（寛政元）年刊

△「**地球隋円図**」／司馬江漢
1796（寛政8）年刊

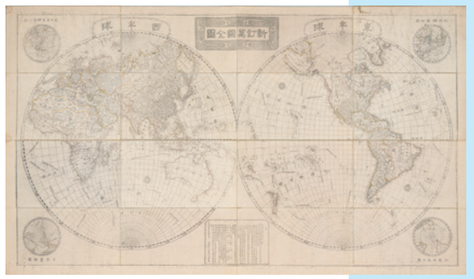
第2部 地誌の探究と拡がる世界

日本では文治政治が展開する中で、実証的な考え方が歴史学などで進みます。中国的な地理学がベースとなり、地誌編纂の重みが増し、考証された地図づくりは江戸時代を通じて行われました。長久保赤水は代表的な一人です。赤水による日本図（赤水図）は近世後期から近代まで受け入れられベストセラーとなり、西洋でも日本を知るための参考資料とされました。一方で、徳川吉宗による漢訳洋書の輸入緩和以降の蘭学の発展は、更に広い世界へと目を向け、西洋の地理知識を吸収していきます。

◁「**官板実測日本地図**」／伊能忠敬作
慶応期（1865～1867年）刊

第3部 世界との接近と伊能図の衝撃

ロシアの南下政策が進み、西洋列強も日本と接触を試みようとする中で、幕府は海防意識を強め、世界と日本が急速に接近していきます。松平定信は寛政の改革で『三国通覧図説』等を絶版にし、取締りを強化する一方で、西洋の情報にも熱いまなざしを向けていました。伊能忠敬は日本初の実測日本地図（伊能図）をつくりましたが、その出来映えは正確だったため、機密情報とされました。しかし、その忠敬の地図情報が国外に伝わり、日本には印刷物として逆輸入されました。伊能図の正確さは近代へと引き継がれ地図づくりの礎となり、活用され続けていきました。



△「**新訂万国全図**」／高橋景保作
1810（文化7）年刊

MAP and PRINTING

関連イベントのご案内 講演会

1.「絵図から地図へ」
講師：上杉 和央（京都府立大学文学部准教授）　日時：10月22日（土）14:00～15:30

2.「松平定信の外交―北の国から 1792来航」
講師：杉本 竜（桑名市博物館館長）　日時：11月5日（土）14:00～15:30

3.「水戸藩地図製作者の系譜―長久保赤水から横山大観の父と伯父へ」
講師：小野寺 淳（放送大学茨城学習センター所長・特任教授）　日時：11月26日（土）14:00～15:30

4.「絵図・地図が語る景観―景観研究への招待―」
講師：橋本 直子（元葛飾区郷土と天文の博物館学芸員）　日時：12月3日（土）14:00～15:30

会　場：印刷博物館 研修室
参加費：無料［ただし企画展入場料が必要です］
定　員：最大各60名を予定［事前予約制・先着順］

お申し込み方法

当館Webサイトよりお申し込みください。
https://www.printing-museum.org/　※定員に達した時点で受付を終了します

VRシアター上映プログラム「伊能忠敬の日本図」

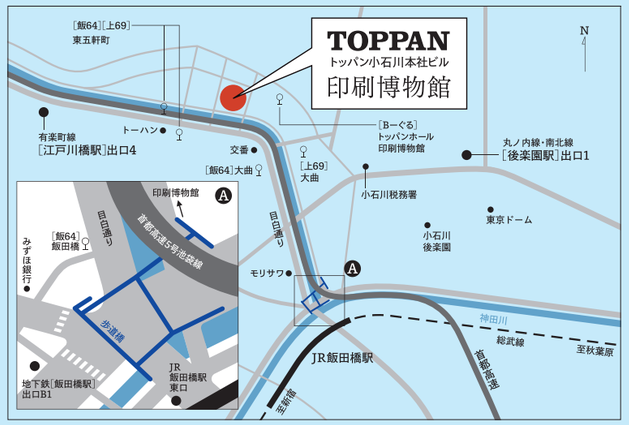
［監修］東京国立博物館　［制作］凸版印刷株式会社

江戸時代、56歳から17年かけて日本全国を測量し、初めて実測による日本図を完成させた伊能忠敬。忠敬たちがつくり上げた地図は、とても精緻なものでした。どのようにしてつくり上げたのか、伊能忠敬の日本図に込められた謎をバーチャルリアリティで解き明かします。

上 映 日：毎週土曜・日曜・土日に続く祝日
上映時間：13:00より開始を予定　詳細は当館のWebサイトをご確認ください。

※本展および関連イベントにつきましては、新型コロナウイルス感染症の感染予防、拡散防止のために中止もしくは延期など変更になる可能性があります。なお、開館する場合でも入場制限の措置を講じさせていただきます。詳細は当館のWebサイトでお知らせします。

交通のご案内

江戸川橋駅――東京メトロ有楽町線（4番出口）より右へ徒歩約8分
飯田橋駅――JR総武線（東口）、東京メトロ有楽町線、東京メトロ東西線
　東京メトロ南北線、都営地下鉄大江戸線（B1出口）より徒歩約13分
後楽園駅――東京メトロ丸ノ内線、東京メトロ南北線（1番出口）より徒歩約10分
都営バス［飯64］――九段下～飯田橋駅前～小滝橋車庫［大曲］［東五軒町］下車徒歩約3分
都営バス［上69］――上野公園～春日駅前～小滝橋車庫［大曲］［東五軒町］下車徒歩約3分
文京区コミュニティバス［B-ぐる］
目白台・小日向ルート「トッパンホール 印刷博物館」下車　徒歩約3分
※トッパン小石川本社ビル地下駐車場がご利用いただけます（有料）。

お申し込み・お問い合わせ先：印刷博物館
〒112-8531　東京都文京区水道1丁目3番3号
トッパン小石川本社ビル
TEL 03-5840-2300（代）
FAX 03-5840-1567
URL https://www.printing-museum.org/